

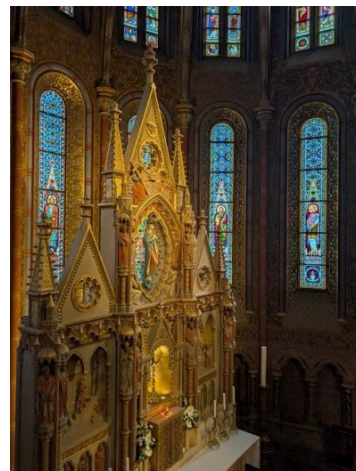
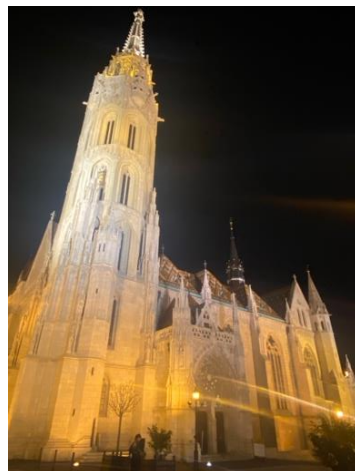
薬学部 薬科学科
後藤美妃

私たちは2月3日~2月13日までハンガリー研修に参加しました。ハンガリーに行く前は不安だらけで仲良くできるのか、馴染めるのかが心配でした。しかし、実際に行ってみるとハンガリーの学生たちはとても優しく、楽しい10日間になりました。

今回の研修のテーマは誰もが住みよい街づくりであり、私たちの班では特に高齢者、障がい者、乳幼児に注目して進めました。研修の期間中、私たちは校内が完全にバリアフリーになっている特別支援学校に行きました。そこでは、どんな人も生活しやすくなっていて、例えばどの高さからでもドアを開けられるドアノブや手を使わずにエレベーターを呼ぶことのできるボタンがありました。また、車椅子に乗る体験もしました。私は初めて乗ったのですが、操縦が意外に難しくドアを通る時に壁にぶつかってしまいました。両手が使えない不便さや場所が広いほど移動しやすいことに気づくことができました。このような学校の設備は学校だけでなく、すべての施設に導入されるべきだと感じました。



この10日間で私たちはハンガリーの様々な場所を訪れました。国会議事堂やブダ城などを訪れる中で、1番心に残った場所はマーチャーシュ教会です。昼と夜で2回行ったのですが、どちらも綺麗で違った良さがありました。教会の中ではステンドグラスが光り輝いており、見るものすべてに感動していました。ハンガリーの街並みは日本とは全く異なり、新鮮なものでした。建物に関する授業もあり、とても興味深かったです。



研修中、ランゴージュやグヤーシュスープ、パラチンタなどの多くのハンガリー料理を食べました。特にグヤーシュスープが美味しく、パプリカパウダーも買ったので日本でも自分で作って食べたいと思いました。



ハンガリーの学生たちは優しく、ほぼ毎日送り迎えしたり、英語やハンガリー語が分からなかった時には教えたりしてくれました。英語をあまり上手く話せず、人見知りな私がこれほどまでに楽しかったのはブダペスト商科大学のみんなのおかげに違いありません。また、話したかったのに自分の英語力が足りないせいであまり話せなかった学生もいたのでもっともっとリスニングとスピーキングの勉強をしたいと強く感じました。

集団生活という中で、人間関係に悩むこともありました。自分はリーダーの経験があったのですが、班長としてみんなを上手く導けず、グループ活動に支障をきたしてしまう場面がありました。自分の力不足を痛感したのでより努力が必要であると考え、勉強していこうと思いました。そしてよりみんなを引っ張っていけるリーダーになりたいです。

この研修を通して文化や価値観の違う仲間と協力して目標を達成することを学びました。社会に出てからこの経験を活かし、様々な背景を持つ人々と共創していきたいです。最後に、この研修に携わっていただいた、ブダペスト商科大学の先生方、講師の方、佐野先生、石田さん、そして親愛なる友人たちに感謝します。

